

各教科と道徳の時間、学級活動について

校長 加藤敏久

	各教科	道徳の時間	学級活動
本質	科学について学び、それを活用して考える。	人間としてのよりよい生き方について考える。	望ましい集団活動を行いそれを生かして考える。
教科等の目標	<ul style="list-style-type: none"> ◎学力を定着・向上させる。 <ul style="list-style-type: none"> ・知識、技能 ・思考力、判断力、表現力 ・主体的に学ぶ態度 <p>※各教科の目標</p>	<p>◎道徳的実践力を育成する。</p> <p>・道徳的価値の自覚の深化</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>何が正しいか、知識を教え込むのではない。人間の本性（気高さと醜さ、強さと弱さなど）に迫るようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◎諸問題を解決しようとする態度や健全な生活態度を育てる。 ・望ましい人間関係の形成 ・よりよい生活づくりへの参画
教員像	豊かな教養と高い技能をもつ教授者	生徒とともに生き方にについて考える人	学級のよきリーダー
指導と評価の一 体化等	<p>本時の目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎授業の冒頭で、何ができるたらよいのか、明確に示す。 <p>まとめ 終末</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎1時間の学習内容をまとめ、理解度や思考の過程、表現等について確認する。 <p>本時の評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎本時の目標に照らして観察、記録する。 ・生徒の自己評価も、本時の目標にどのくらい到達したか、評価させる。 	<p>◎板書や説明はしない。</p> <p>・発問で道徳的価値に迫る。</p> <p>◎板書の発問と生徒の意見で授業を振り返る。</p> <p>◎価値の押しつけや決意表明をさせない。</p> <p>◎発言や記録などから実態を把握し、指導に生かす。</p> <p>◎指導要録の「行動の記録」に反映する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◎活動前に活動の目的と目標、ルールを明確に示す。 <p>◎活動を振り返り、目的と目標、ルールについて価値付け、方向性を示す。</p> <p>◎発言や記録などから実態を把握し、指導に生かす。</p> <p>◎指導要録の「特別活動の記録」の評価の観点に照らして評価する。</p>

総合的な学習の時間（教科等横断的、総合的）